

## 混乱の中で、未来に輝く原石を見つける

### In the confusion, finding the rough stone to shine in the future

神奈川県立保健福祉大学学長 中村 丁次

Teiji Nakamura, President of Kanagawa University of Human Services

先日、世界の1-2位を争う外資系食品メーカーが支援する研究財団によるワークショップがあり、ゲストスピーカーとして参加した。指定された六本木の会議室の扉を開けて驚いた。部屋の中はおもちゃ箱をひっくり返した状態で、部屋のあちこちに文房具が散在し、壁には乱暴な文字で書かれた模造紙が張り巡らされ、参加者は立ったり、椅子に座ったり、中には床に座ったままの人達が、いくつかのグループに分かれて議論していた。まさに混乱状態である。参加者は、日本人を含めて、フランス人、アメリカ人、イギリス人、ポーランド人等多彩で40人前後で、t-シャツにジーンズなどラフな格好で、何人かは「ひょっとこ」のお面を頭にかぶりして、まるでお祭り騒ぎである。彼らが、栄養、食品、流通、マーケティング等の専門家であることを後から知った。

議論を中断してもらい、私は、1時間、我が国の栄養・食品・健康政策の歴史や特徴、今後の方向性を話した。終了後、参加者に取り囲まれ、質疑応答、さらに全員による議論が繰り返された。このワークショップでは、何にも束縛されず、自分の感じたこと、思ったことを自由話しすることができ、意見を述べれば、進行役が必ず「素晴らしい意見だ」と褒めてくれて会議を盛り上げている。議論中なのに鳴り物が音を立て、ボールが投げ込まれ、まるでゲームをしているような感覚で議論が進んだ。私も、日ごろ講演や授業では話さないことも多く話した。記録係は、議論の中からキーワードを選び出し、模造紙に記載して、壁に掲示する。明日、みんなでキーワードを整理して文章化し、報告書にまとめるという。この会議を仕切ったのは、世界的に有名なIT企業であるグーグルの教育担当者であった。

我が国は、明治以来欧米列強国に追いつくために国家の近代化、特に科学技術の導入に努力した。つまり、日本人は、彼らが世界秩序の原理とした民主主義、合理主義、市場経済、科学振興等を積極的に進めて、アジアの中で、最初に近代国家の仲間入りをし、何度も戦争をしたが、この原理が生み出す豊かさを享受することができている。しかしながら、最近の発生し始めた頻繁に起こるテロや地球環境の破壊、さらに経済や社会の格差の増大等は、このような秩序の原理がうまく機能しなくなっているのではないかと思っている。この平穏さがいつまでも続かないかもしれないと不安になり、混沌とした状態になりつつある。何に価値があり、価値ある原理とは何なのかわからなくなっているのではないだろうか。また、現状の問題点と課題は理解でき、理想的な目標は想像できるのだが、その到達方法が解らないなどという指摘もある。

グーグル方式の会議に参加し、混乱はしているが、既存の概念や理論に束縛されず、自由に発言した雑多な意見の中から、未来を切り開く原石が見つかるのかもしれないと考えた。経験したことがない刺激的な半日であり、将来に少し光明が見えた時間でもあった。